

令和4年度

転出入モニターアンケート
調査報告書

令和5年5月



目次

第1章 転入モニターアンケート	1
第1項 概要	2
(1) 調査の目的	2
(2) 現状分析	2
(3) 仮説立案	3
(4) 調査の対象者(モニター)	3
(5) 実施期間	3
(6) 調査手法	3
第2項 調査結果	4
1 事前調査(属性)	4
(1) 転入前の住所	5
(2) 現在の住所	5
2 転入前の状況について	6
(1) 転入先として本市を選んだ理由	7
(2) 転入前の情報収集の手法	9
(3) 市の情報を調べる中で困ったこと	10
(4) 引越し前の不安	11
(5) 頼りになる人の有無	12
(6) 前のまちの子育て環境	13
3 子育て世代とのつながりについて	14
(1) 子育てをする上での不満(ハード)	15
(2) 子育てをする上での不満(ソフト)	17

(3) 参加した市のイベント	19
(4) イベントに参加しにくい理由.....	22
(5) 新住民が求めるつながりの場	24
(6) 参加したいイベント	25
4 本市での子育てについて.....	27
(1) 前のまちとの比較	28
(2) 子育て支援の認知度	32
(3) 本市のアピールできるところ	33
(4) 定住意向.....	34
(5) 今後の興味・関心	37
5 自由意見.....	39
(1) 自由意見.....	40
第3項 総括.....	41
第2章 転出モニターアンケート	44
第1項 概要.....	45
(1) 調査の目的.....	46
(2) 現状	46
(3) 仮説(調査設計の基本的考え)	46
(4) 調査の対象者(モニター)	46
(5) 実施期間	46
(6) 調査手法	46
第2項 調査結果	47
(1) 転出先の住所	48

(2) 本市から転出した理由	49
(3) 本市の良かったところ.....	50
(4) 本市がもう少し取り組んでほしかったところ	51
(5) 本市への愛着	52
(6) 引越し前の不安	53
(7) 自由意見	55
第3項 総括	56

第1章 転入モニターアンケート

第1項 概要

(1) 調査の目的

本市では、子育て世代の誘因につながる対外的訴求力の高い様々な施策を積極的に推進する中、実際に本市に転入した子育て世代が、「住みやすさ」「子育てのしやすさ」「様々なサービス」から満足して頂くことが重要である。

子育て世代(新住民)に対し、住みやすさ、子育てのしやすさ等を定点的に把握することで、新たなニーズを把握し、訴求力の高い政策立案、転出抑制等につなげることを目的に本調査を実施した。

(2) 現状分析

本市に転入される子育て世代の傾向として、過去の調査で大半を占めていた「身寄り」「故郷」「転勤」「転校」と言う理由で転入されるだけでなく、テレワーク、情報通信技術の進展等もあいまって、「子育て世代が住みやすいと聞いたから」など、まちの環境・サービス等を重視され、転入される人が一定数おられる。※1

しかし、まちの環境・サービス等を評価し転入された人は、近くに知り合いが少ない(いない)ことから、身近な生活について相談ができず、孤独を感じておられるなど、自分と近い境遇の人(子育て世代)とのコミュニケーションを求められていることが考えられる。※2

一方、子育て世代が集う交流事業・イベント等では、既に既存住民でコミュニティができ上がっており、これを想像すると参加のハードルが高く、参加できたとしてもコミュニティにうまく入れるか不安を抱いておられ、実際にその不安をSNSで発信されている人もおられる。

※1 【R3新住民の声の把握】・転入した理由について「子育て世代に良いと聞いたから」

・本市に住み続けたいか「住み続けたい」が95% 理由「子育てサービスが充実」など

【市民意識調査(H30 30代)】住みよい理由について「買い物が便利」が1位 「なじみがある」が2位

※2 【子育てニーズ調査(H30)】子育てについて相談できる人 配偶者(86%)親(81.5%)友人(73.9%)

に対し、行政による子育て相談(15.9%)保育所の先生(25.7%)と市の事業は低迷

(3) 仮説立案

仮説:新住民のコミュニティの場について

子育て世代の新住民は、周りに知り合いがいなく、全てが初めてで分からないことも多い。しかしながら、市の交流事業・イベント、子育て支援施設には気軽に参加・利用しにくく、不安を感じながら子育てをされているのではないか。

(4) 調査の対象者(モニター)

本市へ転入間もない未就学児を持つ子育て世代 20人

(5) 実施期間

第1回 令和4年7月8日(金) ~令和4年7月15日(金)

第2回 令和4年10月25日(火)~令和4年11月1日(火)

第3回 令和5年2月7日(火) ~令和5年2月14日(火)

(6) 調査手法

モニターが登録したメールアドレスにアンケート回答用のURLを送付

第2項 調査結果

1 事前調査(属性)

(1) 転入前の住所

大阪府	13	東京都	1
守口市	2	千葉県	1
大阪市	5	栃木県	1
枚方市	2	岡山県	1
門真市	3	徳島県	1
高槻市	1	佐賀県	1
兵庫県	1	合計	20

(2) 現在の住所

中学校区	町名	人数	中学校区	町名	人数
第一	早子町	1	第八	春日町	2
第二	桜木町	1		仁和寺本町	1
	若葉町	1		点野	1
第三	田井町	2	第九	東大利町	1
	緑町	1	友呂岐	石津中町	1
第五	上神田	1		石津東町	1
第六	三井南町	2		豊里町	1
	成田東町	1		木屋町	1
第七	河北東町	1	合計		20

2 転入前の状況について

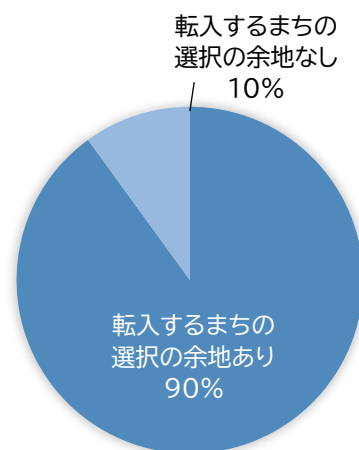
(1) 転入先として本市を選んだ理由

Q:引越し先として寝屋川市を選んだ理由を教えてください。(記述)【1回目】

転入理由として、大きく「転入のきっかけとなった出来事」と「転入先の検討に当たり重視した条件」の2つの要素に分けられる。

【転入のきっかけとなった出来事】 ※ 重複あり

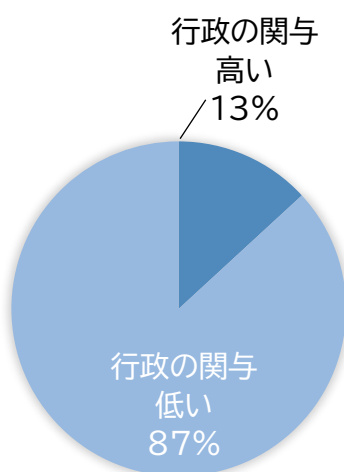
転入のきっかけ	人数	転入するまちの選択の余地	
		あり	なし
マイホームの購入	9	9	0
転勤	6	6	0
出産	2	1	1
結婚	1	1	0
家庭の事情	2	1	1
合計	20	18	2



※ 選択の余地がない理由:実家に同居

【転入先の検討に当たり重視した条件】

※ 重複あり



行政の関与	条件	重視した条件	人数
		高い	子育て環境等
低い	場所	待機児童ゼロ	1
		独自のコロナ対策(選択登校制)	1
		子育てのため	2
		子育て環境が良いと勧められた	1
		通勤の利便性	9
	物件	実家の近く	6
		子どもの通園の利便性	1
物件	生活環境(物価が高くない、住み慣れた場所)	5	
	予算内の物件	5	
物件	魅力的な物件(駅近、新築)	7	

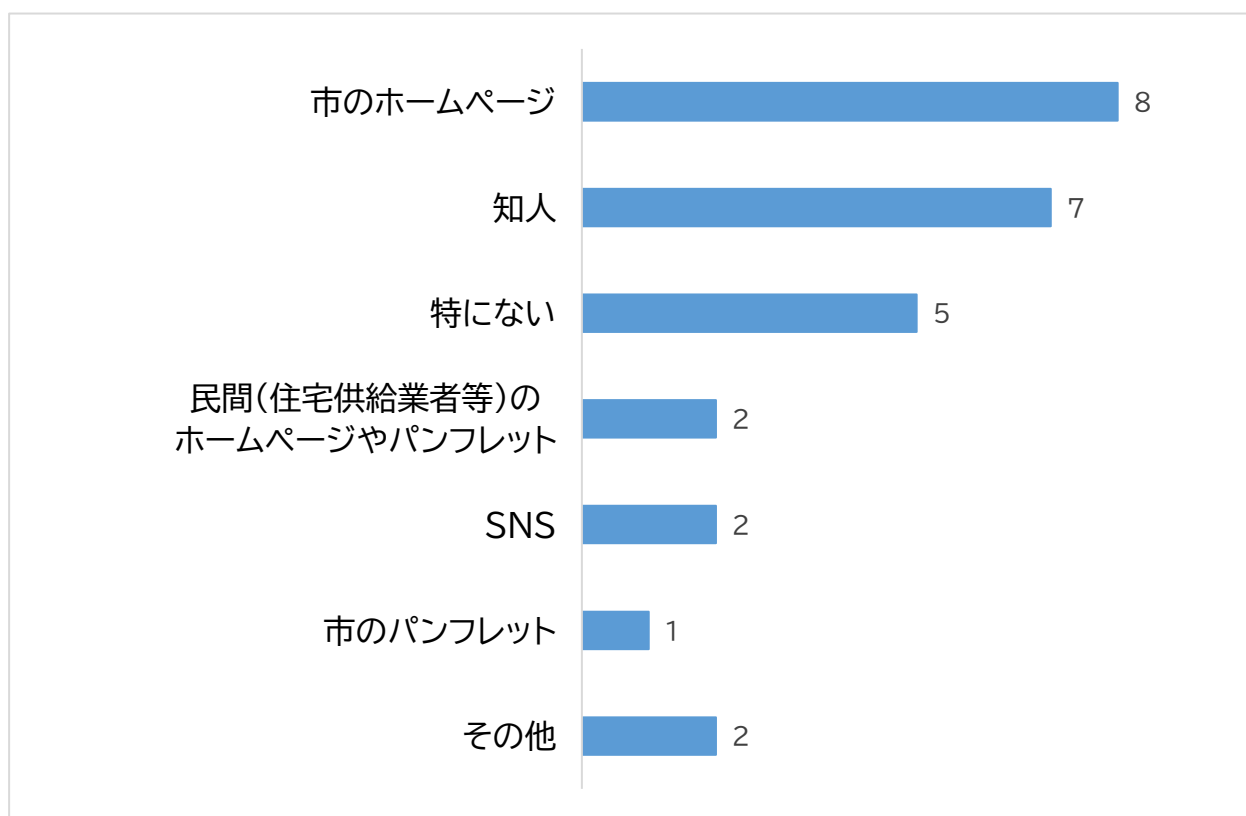
Point

- ・ 転入のきっかけについては、「マイホームの購入」「転勤」など、個人の事情によるものが多い中、転入先のまち選びに際しては、数あるまちの中、本市を選択されている人が一定数おられる。
- ・ 居住の選択条件においては、「購入物件の価格」「通勤の利便性」等を重視して転入された人が多い中、「待機児童ゼロだから」「コロナ禍の選択登校制に魅かれて」「安心して子育てができる」と聞いたから」と、本市の子育て環境・サービス等を重視して転入された人がおられる。

(2) 転入前の情報収集の手法

Q:引越し前に、市の施策やまちの情報をどんな手段で取得しましたか。

(複数回答)【1回目】



※ その他:元々寝屋川市に住んでいたため、ある程度は理解できた。

Point

- ・ 「市ホームページ」「知人」から情報を取得している人が多く、知人から情報を取得された人は、「市内に実家がある」「前住所が寝屋川市の近隣である」人が多い。
- ※ p5(1)転入前の住所
- ※ p7(1)転入先として本市を選んだ理由
- ・ 「特にない」と引越し前に市の施策やまちの情報を調べていない人が一定数おられる。

(3) 市の情報を調べる中で困ったこと

Q:子育て支援や市の施策を調べる中で、困ったことはありますか。

(記述)【2回目】

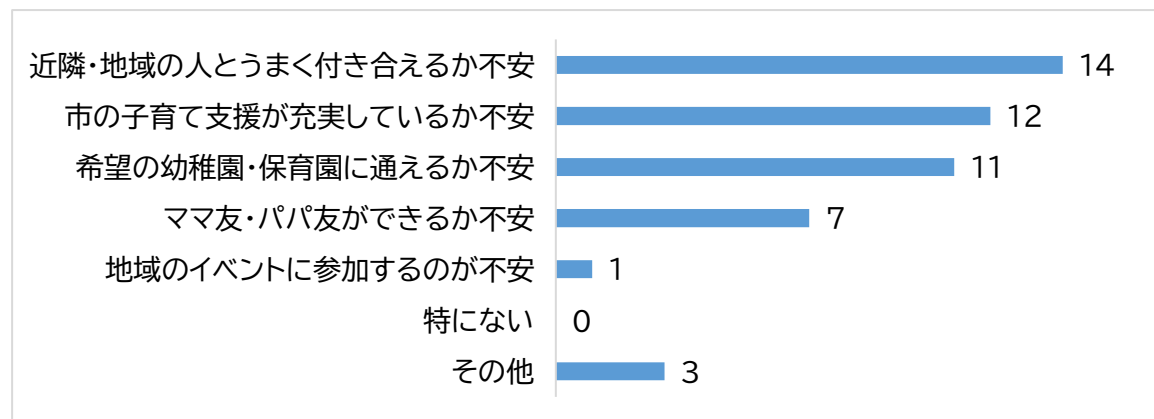
- ① 知りたい情報が見つげにくい・無い
 - ・ 保育園情報(入園の点数の条件、各保育園の位置関係が分かる地図 等)
 - ・ 幼児向けの遊び場・イベント一覧
 - ・ 子どもの予防接種の日時、場所等の情報
 - ・ 子育て相談の場所
 - ・ 小学校に関する情報
 - ・ ゴミの分別内容
- ② 市ホームページの内容が分かりにくい・アプリが使いにくい
 - ・ 市ホームページの情報が更新されていないページがある。
 - ・ 市ホームページの文字数が多く感じる。
 - ・ アプリの操作性 等

Point

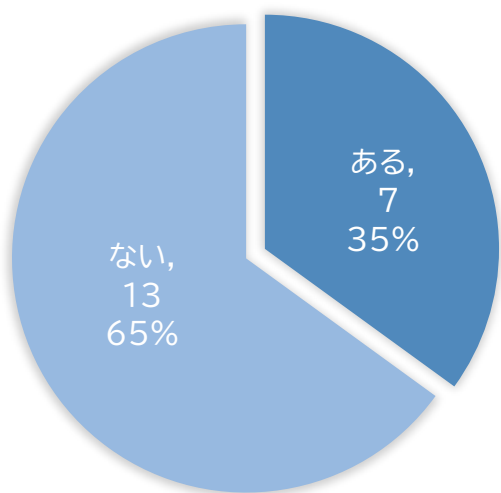
子育て世代は、子育てイベント、保育園、小学校の情報について、事前に市ホームページで下調べをして行動していることが考えられるが、市ホームページで知りたい情報が載っていない、若しくは、情報を検索しにくい等から、本市の情報サービスの活用で課題解決に至っていないことが考えられる。

(4) 引越し前の不安

Q:引越しするに当たり、新しいまち(寝屋川市)での生活に、何か不安に思うことはありましたか。(複数選択)【1回目】



Q:その不安は、寝屋川市に住んだ現在もありますか。(選択)【1回目】



Point

- ・ 近隣・地域との付き合いについては、「地元が寝屋川市」「以前のまちが近隣都市」であるかにかかわらず、不安を抱えておられる。

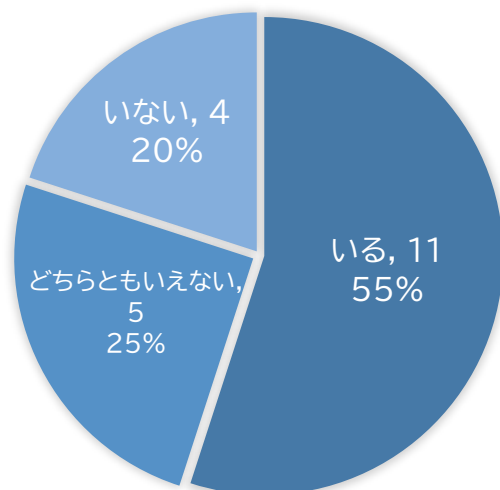
※ p5(1)転入前の住所

※ p7(1)転入先として本市を選んだ理由

- ・ 「市の子育て支援が充実しているか不安」と回答した人の中には、引越し前に市ホームページで市施策・事業を調べ、不安解消(課題解決)につなげるよう取り組まれた人がおられる。 ※ p9(2)転入前の情報収集の手法
- ・ 4割弱の人が本市に住んでからも転入前の不安を抱えておられる。

(5) 頼りになる人の有無

Q:近くに親せきや友達など頼りになる人はいますか。(選択)【1回目】



Point

- ・ 過半数の人が、近くに頼りになる人がおられる。
- ・ 「いない」と回答された4人中3人が、別の回答で「子育ての相談相手がない」と不安を抱えておられる。

※ p17(2)子育てをする上での不満(ソフト)

(6) 前のまちの子育て環境

Q:引っ越し前のまちの子育ての良かったこと、困っていたことを教えてください。
(記述)【応募時】

【前のまちの良かったところ】

① 子育て支援、行政サービス

- ・ 子どもの医療費、保育料、ヘルパーサービスの無償化
- ・ 子育て支援施設(無料、常駐の保育士に育児相談することができた。)
- ・ 子育て相談が親切、予防接種のお知らせが来る 等

② 住環境

利便性(駅、商業施設、公園、スーパー、飲食店が近い)、街の雰囲気(明るい、静か、子どもが多い)、整備された道路、公園(大きい、数が多い、整備されている。)

【前のまちで困っていたこと】

① 子育て支援、行政サービス

コロナ対策(オンライン授業の整備、小学校における濃厚接触者等の管理体制)、待機児童が発生、学童保育が小学3年生まで、アプリやホームページの使い勝手の悪さ、子育て情報不足、子育て相談(身近にない) 等

② 住環境

自然が少ない、子どもの遊び場(古い、不衛生、数が少ない)、道路(狭い、交通量が多い)、治安、産婦人科が少ない、小児科へのアクセスが悪い。

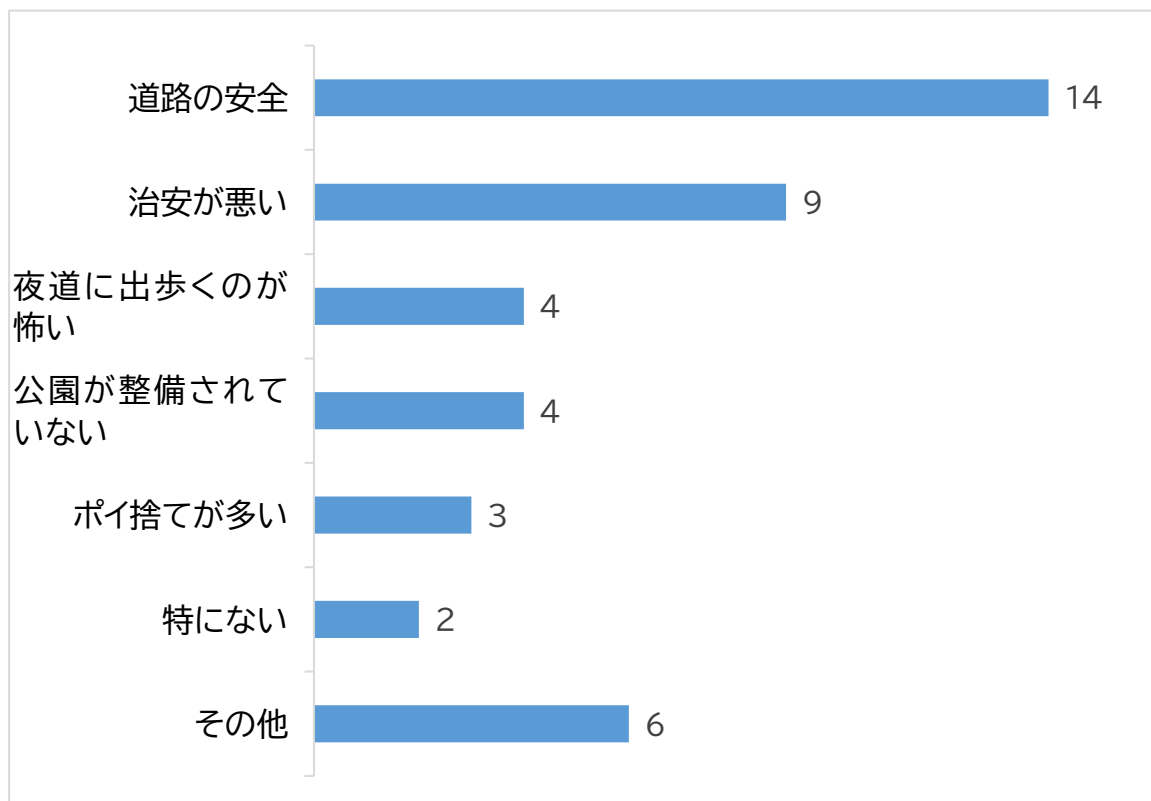
3 子育て世代とのつながりについて

(1) 子育てをする上での不満(ハード)

(道路、施設、公園等に関する質問)

Q:現時点で子育てをする上で困っていること、不満はありますか。

(複数選択)【1回目】



① 道路の安全性

- ・ 車・バイク・自転車の運転マナーが悪い。(通学路を含む。)
- ・ 道路が狭い、ガタガタ(ベビーカーや子どもを連れて歩くのが怖い。)

② 治安が悪い

事件や不審者情報が定期的にある。

③ 夜道に出歩くのが怖い

駅周辺を離れると街灯、交番、コンビニが少ない。

④ 公園が整備されていない

雑草で見晴らしが悪い、遊具が古く落書きが多い、大きな公園まで道のりが遠い。

⑤ ポイ捨てが多い

ゴミやタバコの吸い殻、犬のフンがよく落ちている。

⑥ 受動喫煙

喫煙者がベンチにずっといる(赤ちゃんと一緒に休めない。)、歩きタバコ

Point

安心・安全な道路環境に関心が高く、その中でも、道路の補装、整備など、ハード面での不満が多い。

あわせて、喫煙マナー、公園マナー、ポイ捨て対策など、ソフト面での不満も多い。

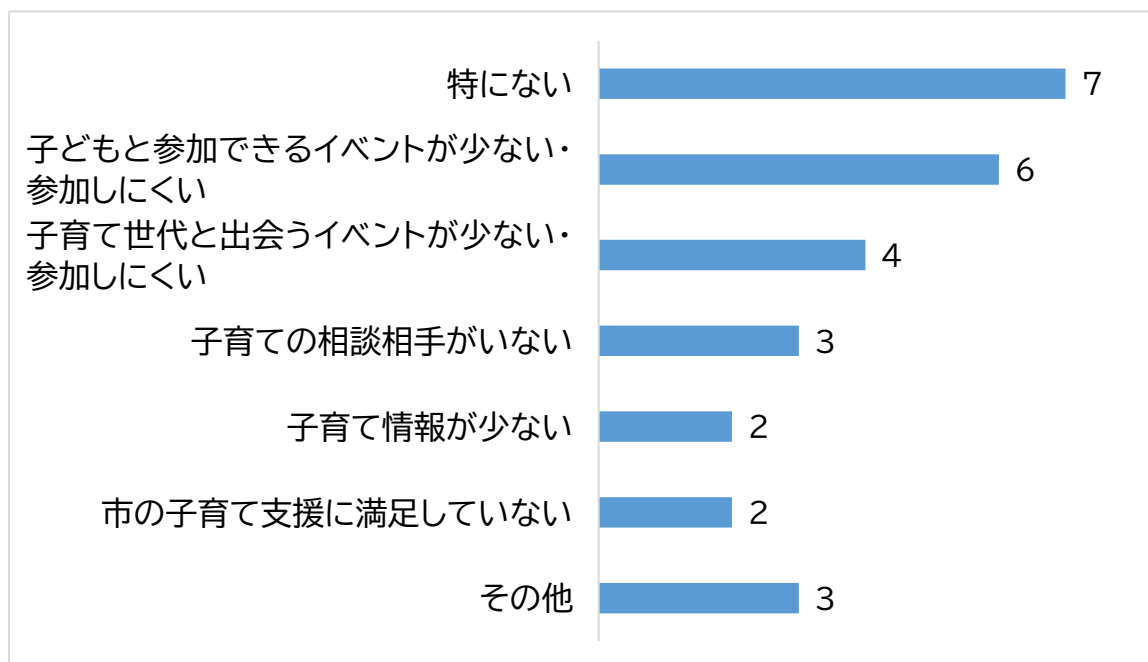
⇒ 子育て世代が安心して過ごすためには、ハード、ソフトの両面から環境整備を行うことが重要と考えられる。

(2) 子育てをする上での不満(ソフト)

(子育て相談、地域との関係等に関する質問)

Q:現時点で子育てをする上で困っていること、不満はありますか。

(複数選択)【1回目】



※ その他:支援施設、育児相談、小学校の先生の対応

① 特にない

子育ての相談窓口、一時預かり、子育て支援施設、市職員の対応が良い。

② 子どもと参加できるイベントが少ない・参加しにくい

- ・ 土日祝のイベントが少ない。
- ・ イベントの空きがない(オンラインの活用、回数を増加してほしい。)

③ 子育て世代と出会うイベントが少ない・参加しにくい

- ・ 家庭の事情を色々と知られる心配がある。
- ・ 子育て支援センターの職員と合わなかった。

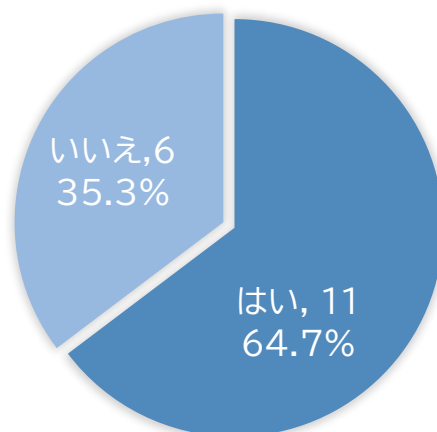
- ④ 子育ての相談相手がいない
頼れる人がいなく、休みがなくて辛い。
- ⑤ 子育て情報が少ない
子育て支援施設の設備、遊具等を動画等で掲載してほしい。(小さな子どもが安心して遊べる施設なのか分からない。)
- ⑥ 市の子育て支援に満足していない
 - ・ 乳児期を卒業した未就学児への子育て支援の充実
 - ・ 保育料、3歳児からの給食費の無償化
- ⑦ その他
一時保育の利用手続に時間が掛かった 等

Point

- ・ 子どもと参加できるイベントや子育て世代と出会うイベントを求める声が多いものの、参加に至るまでの心理的なハードルが高く、参加しにくいと思われる人が一定数おられる。
※ p22(4)「イベントに参加しにくい理由」で深堀
- ・ 初めて子育て支援施設を利用される人でも気軽に参加できる仕組み・仕掛けづくりが重要と考えられる。

(3) 参加した市のイベント

Q:本市に引っ越ししてから、市の子育て支援施設の利用、又は市のイベントに参加しましたか。(選択)【2回目】



Q:イベント・施設名、参加した理由、どのような印象だったのかを教えてください。(記述)【2回目】

【施設名】

リラット(7件)、子どもセンター(6件)、子育て支援センター(2件)、
きんもくせい保育園支援センター(2件)、つどいの広場そら、つどいの広場はる、
寝屋川めぐみ園、図書館、環境イベント(3件)

【参加した理由】

- ① 親同士の交流を求めて
 - ・ 近所でのつながり、子どもと同級生のママ友、アラフォーママの集まり
 - ・ 気分転換(引っ越して間もない頃)
- ② 遊び場を求めて
 - ・ 安心・安全な室内の遊び場(猛暑の中、公園で遊べないため)
 - ・ 公園、家での遊びの限界

③ 魅力的なイベント・施設と感じて

- ・ 子どもの一時預かりができるヨガ講座
- ・ 図書館(きれい、気分転換)
- ・ 図書館での本の読み聞かせ(絵本の読み方を知りたかった。)
- ・ 環境リーダー(スタッフが親切)

④ その他

慣らし保育目的、土曜日開催 等

【良い印象】

① 施設・イベントへの満足

- ・ 安心・安全な環境(施設が清潔、先生やスタッフの目が行き届いている。)
- ・ イベント内容が良い。(ヨガ、誕生日会、夏祭り、パパ・ママ教室)

② 親同士の交流

同世代のママ友ができた。(年齢別のイベントだった。)

③ 気分転換

- ・ 前向きな気持ちになった。
- ・ 気軽にスタッフと話せたので、ストレス解消につながった。

【悪い印象】

① 施設・イベントへの不満

土日祝のイベントが少ない、遊具の少なさ、先生、スタッフの対応が親身でないと感じた。

② 交流

- ・ 常連、グループでの参加者がおられたため、転入したばかりの自分には居辛かった。
- ・ 交流がなく、淡々とした雰囲気だった。

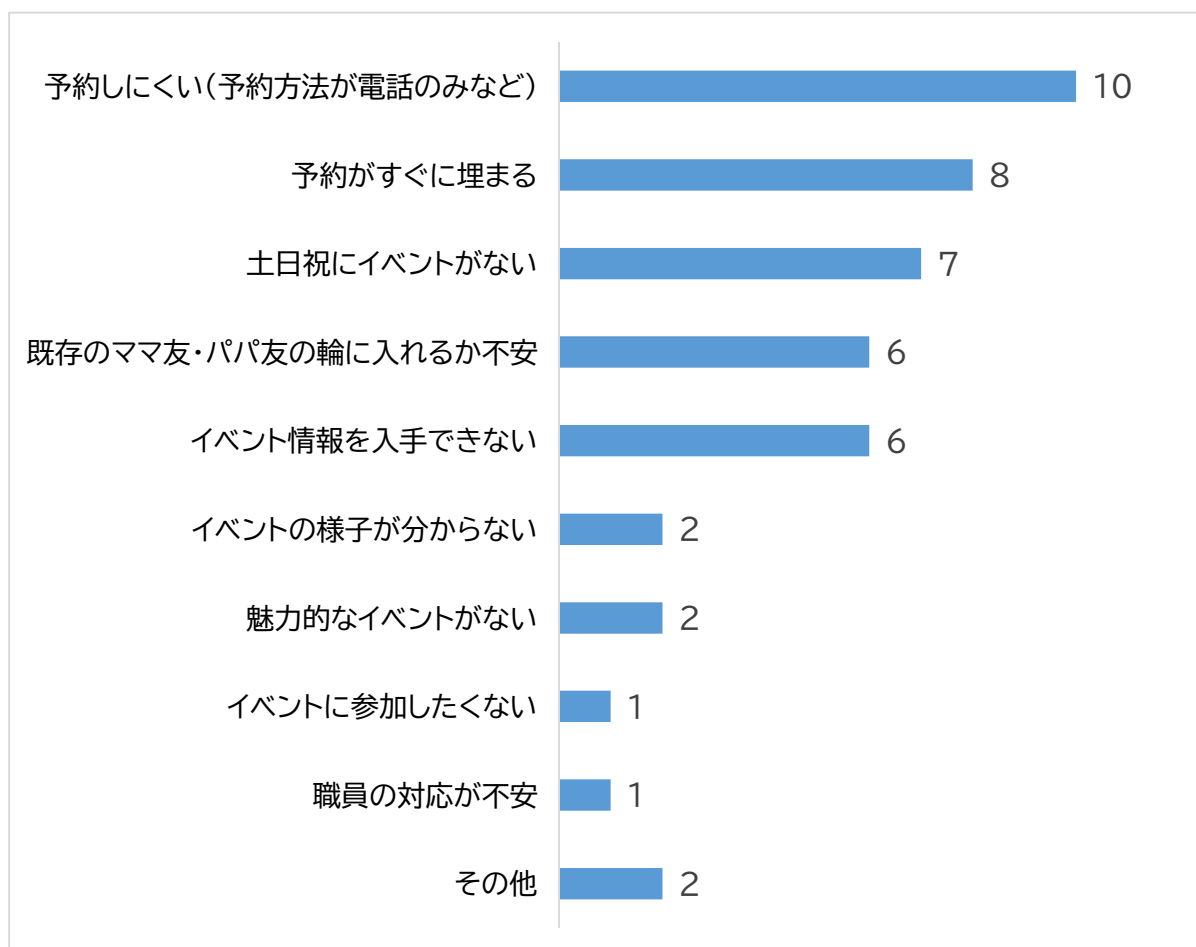
Point

- ・ イベントに参加する理由として、子どもの遊び場やイベント内容に魅力を感じて参加しているだけでなく、親同士の交流や親自身のリフレッシュのために参加している人がおられる。
 - ・ イベントに参加して良かった印象として、子どもを安心して遊ばすことができる環境、先生の印象や居心地、ママ友ができたという人がおられた。
一方、悪かった印象として、予約がすぐに埋まり参加できないこと、常連、グループでの参加者がおられ、転入したばかりの自分には、居心地が悪かったこと、遊具が少なかったという人がおられた。
- ⇒ イベントや施設へのニーズとしては、子どもが安全に楽しく遊べることを前提に、親同士の交流や親自身のリフレッシュを求められていることから、親子共に居心地の良い環境整備が重要と考えられる。

(4) イベントに参加しにくい理由

Q:イベントに参加しにくい・参加しにくかった理由があれば教えてください。

(複数選択)【2回目】



※ その他:イベント会場までが遠い、コロナへの不安、イベントに参加できる日時が少ない。

Q:どのように改善したら参加しやすいですか。(記述)【2回目】

- ① 予約方法の媒体を増やす。
ウェブ予約、ネット検索(働いていて、日中に電話予約できないため)
- ② イベント情報の入手をしやすいにする。
 - ・ 混雑状況、イベントの詳細、イベント一覧の掲載
 - ・ イベント情報の発信(保育園、アプリ、LINE)
 - ・ イベントカレンダーの活用(年齢別に分けて検索 等)
- ③ 土日祝にイベントを行う。
土日祝のイベント開催(働いているママ・パパが参加しやすいように)
- ④ 魅力的なイベントを増やす。
 - ・ 年齢別のイベント(ママ・パパの交流を図るため)
 - ・ お祭り(少額、簡易的なもの)
 - ・ 働くママがリフレッシュできるイベント(子どもの一時預り付きのメイク・ネイル講座 等)
 - ・ ママ同士の交流会(子どもの一時預り付き)
 - ・ 保育園の合同説明会(各保育園の説明を聞くのが大変なため)
 - ・ 一歳前後の子ども(お座り前、歩ける前の頃)のイベント

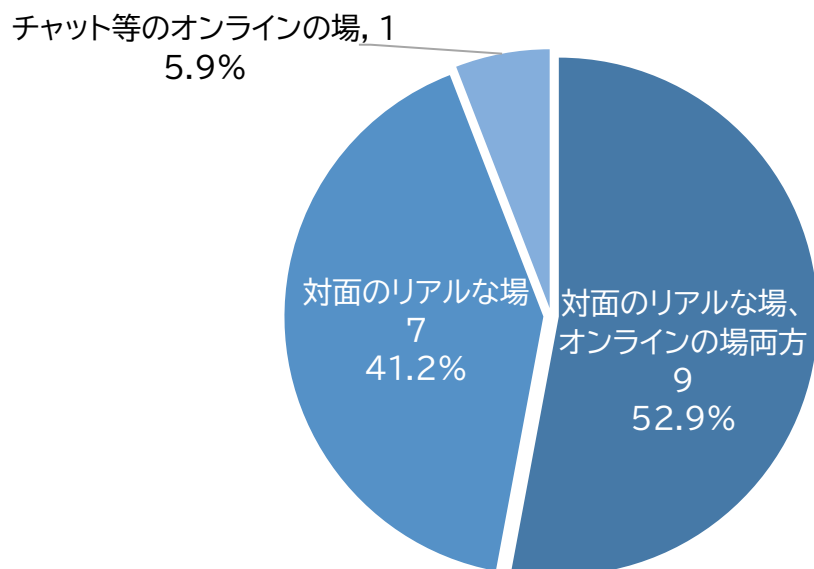
Point

- ・ 「予約方法が電話に限られている」「土日祝にイベントがない」ことにより、イベントに参加しにくい人がおられるため、これらを改善することで働いている子育て世代もイベントに参加しやすくなることが考えられる。
- ・ 予約方法、開催日の改善だけでなく、情報を取得しにくいことが、イベントへ参加しにくいことにつながっていると考えられ、より一層、分かりやすい情報発信、情報の検索性を高める取組が重要と考えられる。

(5) 新住民が求めるつながりの場

Q:同じ環境のママ友・パパ友とつながる際、どのような場が理想ですか。

(選択)【3回目】



Point

同じ環境のママ友・パパ友とつながる際、対面・オンラインの両方の場が理想と考
えている人が多い。



(6) 参加したいイベント

Q:どのようなイベントがあれば参加したいですか。(記述)【2回目】

① 交流会

- ・ 転入間もない子育て世代との交流(情報交換の場として定期開催)
- ・ 寝屋川市在住のママと、転入間もないママとの交流(おすすめの施設、公園、スーパー、商店街、身近な情報、幼稚園、保育園など、リアルな情報取得のため)
- ・ 初めて子育て支援センターを利用する人を限定としたイベント(既にママ同士のグループがあると輪に入りにくいいため。)
- ・ 土日祝のイベント(親のリフレッシュ、夫婦での参加)
- ・ 子どもの年齢別の特徴、接し方等の勉強会
- ・ 世代間交流会、パパ同士の交流会、子育て相談

② 見学・体験

- ・ オンラインの子育て施設見学
- ・ 子育て支援の体験講座(実際の支援内容が分からないため)
- ・ 子どもの一時預かり、子育て支援で開放している園の見学会
- ・ フリーマーケット、バザー(赤ちゃん用品などの活用) 等

③ 子ども向けのイベント

- ・ 赤ちゃん対象イベント(歌、お話、手遊び)、お祭り、幼児交流
- ・ 未就学児、小学校低学年対象のスポーツ、ワークショップ(屋外、広いスペース)

Point

参加したいイベントとしては、「同じ境遇の子育て世代との交流」「既存住民の子育て世代との交流」などが考えられ、その背景としては、ママ友・パパ友を作りたいだけでなく、身近な情報の交換、リアルな情報の取得を目的としていることが考えられる。

【参考】子育て世代とのつながりについて～調査ストーリー

【調査1回目】

子育ての不満は？(ソフト関係)

- ・ 子どもと参加できるイベントに参加しにくい
- ・ 子育て世代と出会うイベントに参加しにくい
- ・ 子育ての相談相手がいない
- ・ 子育て情報が不十分

参加しにくい等の意見が多かったことを踏まえ、本市に住んでから約3か月後

【調査2回目】

施設の利用、イベントへの参加状況は？

約6割が利用・参加した

【参加理由】

- ・ つながり
ママ友を作りたい、誰かと話をしたい 等
- ・ イベント・施設の魅力
- ・ 遊び場

【調査2回目】

イベント参加の弊害は？

- ・ 予約しにくい(予約方法が電話のみ等)
- ・ 予約がすぐ埋まる
- ・ 土日祝にイベントがない
- ・ 既存のママ・パパ友の輪に入れるか不安

【調査2回目】

参加したいイベントは？

- ・ 転入間もない子育て世代交流会
- ・ 初めて施設を利用するママ限定のイベント
- ・ お勧めのスーパー、病院、商店街、公園など、身近な情報が得られる場

【調査3回目】

実施形式のニーズ
※理想とするつながりの場

イベント等の内容により、リアルの場合、オンラインの場を使い分け 約5割

【調査2回目】

どうすれば参加しやすいか？

- ・ オンラインを活用した予約方法の検討
- ・ 土日祝を含む開催日の改善
- ・ より一層分かりやすい情報発信
- ・ 情報発信の検索性
- ・ 初めてでも気兼ねなく参加できるイベントの開催

4 本市での子育てについて

(1) 前のまちとの比較

Q:前に住んでいたまちと比べて、「子育てする上で寝屋川市はここが良い」と感じる点を記載してください。(記述)【第1回、第3回】

【1回目の調査で頂いた意見】

① 子育て支援施設

リラット、子育て支援施設の土曜日利用及び数の多さ(乳幼児含む。)、気軽に利用できること。

⇨前のまち:遊べる大きな施設がない、子育て支援施設の数が少ない、行きやすい場所がない、事前予約が必要

② 市施策・事業

- ・ With Books 事業(子どもの年齢に合った本の参考になった。)
- ・ 小学校でコロナ陽性者が発生した際の通知
- ・ 中央図書館(広い、きれい)

③ 公園

- ・ 公園(大きい、数が多い、整備されている。)
- ・ 保育園の園庭が広い。

④ 住環境

- ・ 路上駐車が少ない、夜が静か、物価・家賃が安い。
- ・ 近所付き合いがあって良い。⇨前のまち:近所付き合いなし。

⑤ 市職員の対応

- ・ 子育て支援職員、市役所、各シティ・ステーション職員の対応
- ・ スタッフの横の連携がある。(リラット、こどもセンター、子育て支援センター、助産師 等)

【3回目の調査で頂いた意見】

① 子育て支援施設

- ・ 子育て支援(数が多い、気軽に利用)⇔前のまち:予約が取れない。
- ・ つどいの広場(土曜日利用)
- ・ 子ども同士の交流
- ・ 同じ境遇で子育てをする人や専門家とのつながり(子育ての不安や心配ごとへの精神的な負担軽減につながっている。)

② 市施策・事業

- ・ いじめ対策、待機児童ゼロ(職場復帰の際に助かった。)、
リラットの LINE クーポンなどの補助、選択登校制
- ・ 中央図書館の充実(本、設備)

③ 公園

公園が広い、整備されている、自然環境やイベントが身近(田井西公園、
寝屋川公園、深北緑地 等)

④ 住環境

思っていたよりも治安が悪くない。

Point

- ・ 保育所への入所通知が届く2月頃(3回目調査時)には、「保育園に入れてよかった」と、待機児童ゼロ事業の効果を実感している人もおられた。
 - ・ 子育て支援施設を継続的に利用している人の不満が少ないことから、本市の子育て施設はニーズに応じたものとなっていることが考えられる。
- ⇒ 子育て環境に満足している要因として、主に以下の3点が考えられる。
- ・ 子どもの遊び場の確保(子育て支援施設、公園 等)
 - ・ 保育園の入所のしやすさ(待機児童ゼロに向けた取組 等)
 - ・ 子育て情報の入手のしやすさ、子育て相談の場所の充実

Q:前に住んでいたまちと比べて、「子育てする上で寝屋川市はもっとこうだったらいいのに」と感じる点や不安な点を記載してください。(記述)【第1回、第3回】

【1回目の調査で頂いた意見】

① 子育て支援

- ・ 幼稚園の給食費、保育料、子どもの医療費等の無償化
- ・ イベントの充実(自然、外国人との交流)
- ・ 子育て相談をする機会や場所が身近に感じられる工夫
⇒ 前のまち:田舎だったからか、子育て相談が身近にある感覚だった。
- ・ 小・中学校の老朽化

② 公園

- ・ 公園の雑草、遊具の手入れ
- ・ 大きな公園の設置⇒前のまち:ある程度の大きさの公園が点在

③ 生活環境

広い歩道 等

【3回目の調査で頂いた意見】

① 子育て支援

- ・ 現金給付、子どもの医療費及び保育料の無償化
- ・ 保育園(教育内容の充実、園の増設)
- ・ 土日利用できる一時預かり
- ・ つどいの広場(保育士を増員し、子育て相談のしやすさの向上)
- ・ 子どもの予防接種のお知らせ

② 公園

公園の遊具の手入れ

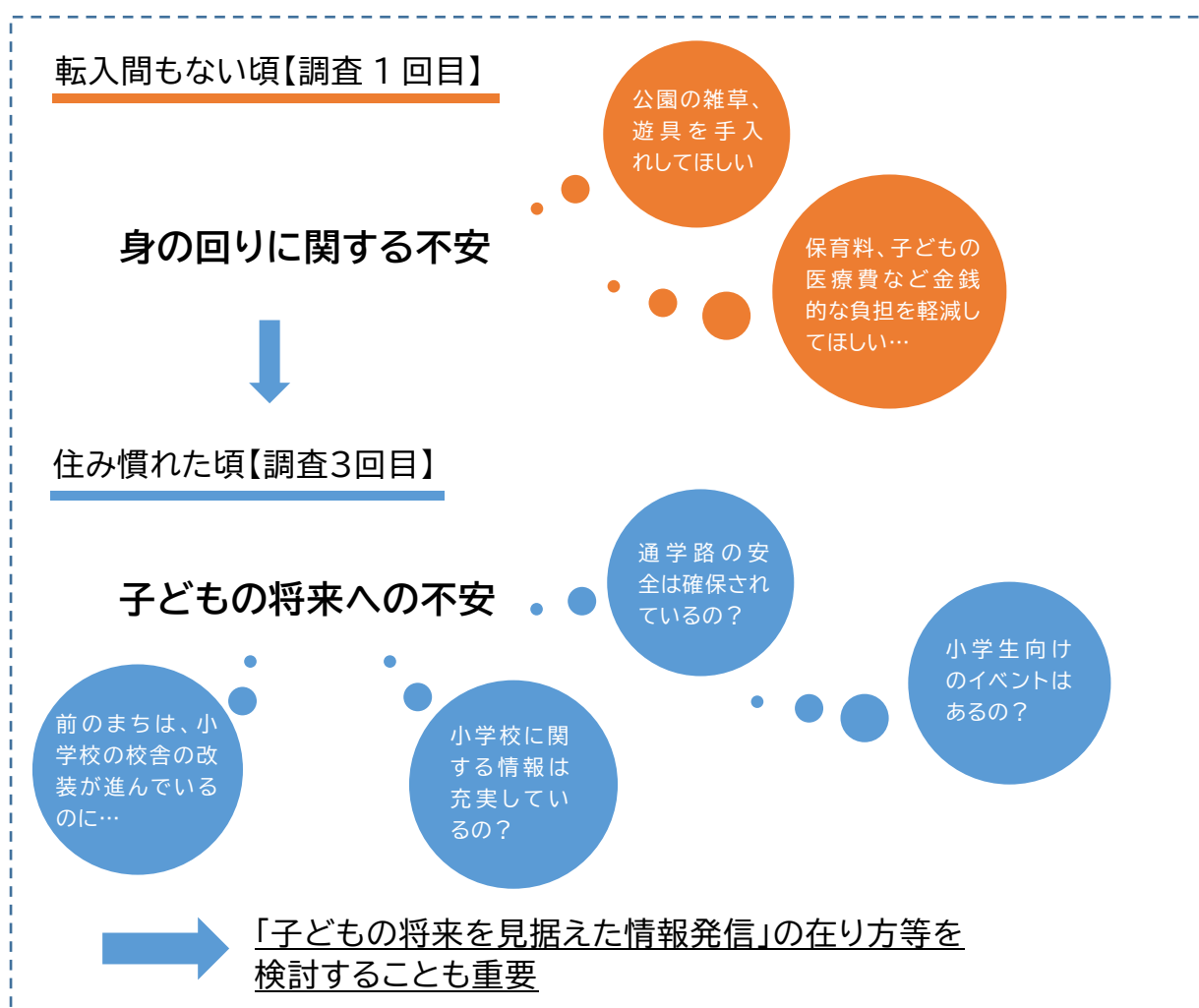
③ 生活環境

- ・ 街灯の増設、広い道、道の整備(ベビーカー、自転車ですれ違うのが怖い。)
- ・ 家計の支援(今後の物価高騰等の影響)
- ・ 図書館の本の充実(英語や最新・人気の絵本 等)

④ 就学後の情報・環境

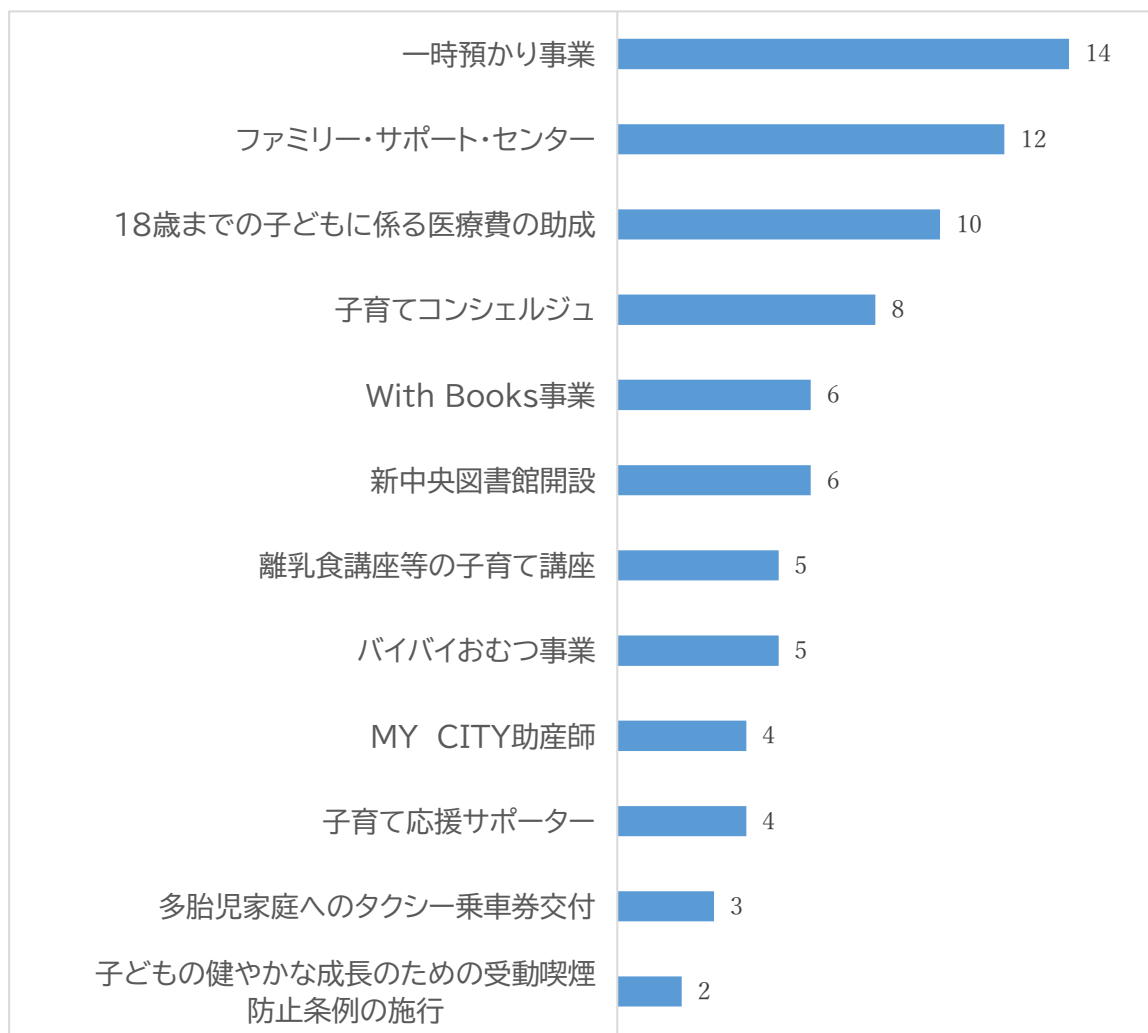
- ・ 小学生向けのイベント、小学校に関する情報の充実。通学路の見守り、小学校の安全の確保
- ・ 小学校への通学距離(前のまちはもっと近かった。)
- ・ 小学校の老朽化への対応⇨前のまち:小学校の校舎の改装が進んでいる。
- ・ 就学後のサポートの充実、子育てのしやすさ

Point



(2) 子育て支援の認知度

Q:知っている取組を教えてください。(複数選択)【3回目】



Point

- ・ 子育て支援施策の認知度は、一時預かり事業、次にファミリー・サポート・センター、医療助成が高いことから、生活面のサポート、経済的負担の軽減への興味・関心が高いことが考えられる。
- ・ 一方、子どもの健やかな成長のための受動喫煙防止条例の施行や、多胎児家庭へのタクシー乗車券交付については認知度が低く、子育て施策を幅広く知っていただくためにも、より一層の周知が重要と考えられる。

(3) 本市のアピールできるところ

Q:転入を検討されている方に向けて、「寝屋川市のもっとここをアピールすればいいのに」と思うところはありますか。(記述)【2回目】

① 子育て支援

- ・ 妊婦へのバス券補助、小学生へのタブレット導入、待機児童ゼロの取組、いじめ対策の充実、小中一貫校の開校、選択登校制の実施
- ・ 子育て支援の具体的な内容(子育てしやすさの魅力が伝わっていない。)

② 図書館

中央図書館のリニューアルや利用時間、蔵書数の多さ、Web サービスでの蔵書検索や予約のしやすさ、移動図書館「おきがる号」

③ 公園

市広報誌での公園特集(公園への関心が高く、その情報があれば嬉しい。)

④ イベント

- ・ 無料で様々な体験ができる自然体験学習室
- ・ イベント数の多さ(子育て支援に限らない。)

⑤ その他

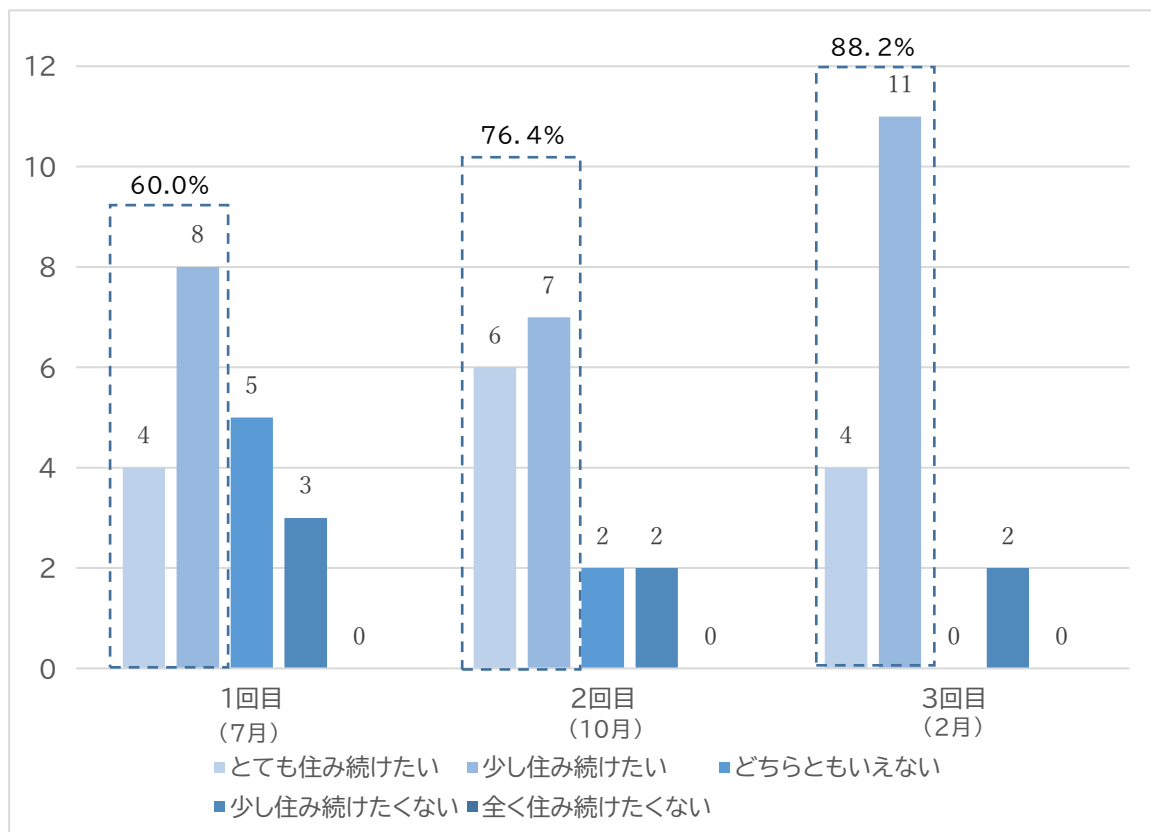
治安が悪くない、美化対策への取組、ゴミ収集の回数と内容の充実、市役所や各シティ・ステーションの開庁時間、職員の対応が親切・丁寧

Point

- ・ 本市の子育て支援については、実際に利用された人の満足が高く、対外的にアピールできるという意見があることから、対外的訴求力が高いことが考えられる。
- ・ 一方、「実際に何がどう子育てしやすいのか」という情報、魅力が伝わっていないという意見があり、本市の子育て支援を利用したことがない人(特に市外の子育て世代)にも魅力が伝わるよう、情報発信、アピールの工夫が重要と考えられる。

(4) 定住意向

Q:現時点で寝屋川市に住み続けたいと思いますか。(選択)【全3回】



Point

3回の調査を通して、多くの人が住み続けたいと思っており、本市で暮らし始めてから時間の経過と共に、その割合が高くなってきている。

Q:「住み続けたい」と思う理由を記載してください。(記述)【1～3回目】

1回目	2回目	3回目
① 人とのつながりがある。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実家のサポート、友人、ママ友、親切的な地域の方、子育て支援センターの先生 ・ 子どもの健診等で保護者の健康も気にかけてくれる。 	地域の方が親切、子育てや幼稚園の選び方の相談相手がいる。(子育て支援センター、こどもセンター、リラットで出会ったママ友、先輩ママ)	
② 子育て支援・市民サービスがよい。		
市職員の対応(市役所)、図書館サービスの充実、選択登校制	市民サービス、子育て支援の充実、子育ての相談場所の多さ、独自のコロナ対策の充実、選択登校制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援施設、保育所が多い、選択登校制、中央図書館が快適、講座やイベントの種類が多い、公共施設が利用しやすい。 ・ 情報収集しやすい(広報、社協便りが読みやすい、アプリが便利) ・ 市職員の対応がアットホームで相談しやすい。(市役所、図書館など)
③ 生活環境がよい。		
利便性(買い物、通勤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性(買い物、交通の便) ・ 適度な緑地、大きな公園 ・ 対馬江大利線が広がる。 ・ 商業施設がある。 ・ 保育園が近い。 ・ 病院が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性(買い物、都市部、郊外へのアクセス) ・ 自転車で移動しやすい。(香里園駅から寝屋川市駅までは坂道がない) ・ 賃貸物件(手ごろな価格、多い) ・ 公園(緑豊か、広い、治水緑地公園) ・ 静かで暮らしやすい。 ・ まちの整備に期待(対馬江大利線)
④ 治安の不安がない。		
治安がそんなに悪くない。	治安の不安がない。	少し治安の不安があるが、引っ越し前に想像していたよりも治安は悪くない。

※ その他:小学校進学への不安(集団登校の集合場所や時間に、親の方が早く出ないといけない、一人での登下校 等)

Q:「住み続けたくない」と思う理由を記載してください。(記述)【1～3回目】

1回目	2回目	3回目
① 子育て環境が不満		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のサポート(認可外保育園についても、市立保育園と同様におむつの引き取り事業をしてほしい。) ・ 子育て支援に力を入れていると聞いていたが、想定していたより良いと思わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園に入りにくい。
② 生活環境が不満		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日の買い物が不便、街の雰囲気古いが古い、道路が狭い。 ・ 子どものスクール、習い事が充実していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポイ捨て(タバコ、犬のフン)、歩きタバコ、道路が狭い、バイクの騒音、子どもとくつろげる飲食店が少ない。 ・ 市内に幼児教室や習い事をさせる場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マナーが良くない人が多い。 ・ 市内に習い事をさせる場所がない。

Point

「どちらともいえない」と回答された人が3回の調査を通して減少しており、転入間もない頃に比べて、実際住んでみて本市の良し悪しが分かり、定住意向が二極化したことが考えられる。

【住み続けたい理由】

「人とのつながりがあるから」「子育て支援・行政サービスに満足しているから」「生活環境が良いから」との意見があり、これらは、「安心して子育てする」ための重要な要素と考えられる。

【住み続けたくない理由】

生活環境を中心に、ハード施策では、道路が狭い等という不満の声が、ソフト施策では、ポイ捨て、歩きタバコ、バイクの騒音など、マナーの向上につながる施策を求める声が見られた。

⇒ 子育て世代は、定住するまちとして考える際、身の回りの生活環境や子育て環境を重視していることが考えられる。また、転入者であるからこそ、他市と比較して本市が実施していないサービスに対して不満を抱いていることが考えられる。

(5) 今後の興味・関心

Q:今後、寝屋川市に住んでいくに当たり、どのようなことに興味を持っていますか。(記述)【1回目、3回目】

1回目	3回目
① 市のイベント	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験教室(とても勉強になりスタッフの子どもへの関わり方が素晴らしい) ・ 環境フェア(子どもが大きくなったら色々なことを学び、経験できるイベントに参加したい。子どもも大喜びで、来年も参加したい。) ・ 小学生向けのイベント、夏祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが楽しめるイベント
② 子育て支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援施設の土曜日利用 ・ リラット(子どもの遊び場) ・ 図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援の充実 ・ ファミリー・サポート・センターの利用者の声 ・ 子どもの教育環境 ・ 図書館(子どもが読める本)
③ 小学校に関する取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ対策(直接学校や先生に相談できない時に、相談できる場所があるだけで親子共に安心できる。実際に小学校で配られている用紙を見たが、気軽に相談できそうで安心した。) ・ 小中一貫校の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の教育 ・ 小学校の老朽化への取組 ・ 学童保育 等 ・ いじめ問題(実際に子どもたちに届いているのか、具体的な対応)
④ 生活環境の安全性	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの安全や美化(防犯カメラの設置状況、歩きタバコやポイ捨ての効果的な抑止方法 等) ・ 京阪電車高架事業 ・ 道路の拡張などの安全確保 ・ 通学路の安全性 ・ ユニバーサルデザイン等の安全・安心なまちづくり
⑤ その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市独自の物価高騰への取組 ・ 明石市のようなおむつ定期便 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的支援(物価高騰や光熱費の高騰が不安なため)

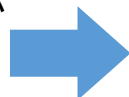
Point

【調査1回目】

転入間もない頃

市のイベントに関する興味・関心

- ・ 環境フェア
- ・ 小学生向けのイベント
- ・ 夏まつり 等



【調査3回目】

住み慣れた頃

生活環境の安全性

- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 歩きタバコの防止
- ・ 道路の拡張 等

小学校への興味・関心

- ・ 校舎の老朽化
- ・ いじめ対策
- ・ 学童保育 等

小学校に関することについても、
未就学児の段階から情報発信して
いくことが重要



就学児になる前での
転出抑制

➡ **定住促進**



5 自由意見

(1) 自由意見

Q:寝屋川市に住んでみて思うことを自由に記述してください。(記述)【3 回目】

(主な意見抜粋)

① ポジティブな意見

- ・ 実際に住んでみて、治安の悪さはそこまで感じない。
- ・ 思ったより治安も良くて住みやすい。
- ・ 寝屋川市で妊娠→出産→子育てを経験し、とても住みやすさを実感している。
- ・ いじめ問題、コロナ禍での取組など、ポジティブな意味での「さすが寝屋川」を SNS 等で目にすることが増えたように思う。
- ・ イベントや市の情報が YouTube や Web サイトで写真・動画付きで知ることができるのがとても分かりやすい。
- ・ 道路や公園の整備を連絡したらアプリで分かるようになっており、放置してはいけないと思うようになった。

② ネガティブな意見

- ・ 不便もなく良い印象だが、まちの活性化に力を入れてほしい。
- ・ 子育て世代との交流の機会を増やしてほしい。
- ・ ひとり親家庭同士が交流できる機会が欲しい。
- ・ アットホームだが、昔からの悪いイメージが残っている。
- ・ 歩きたばこ、交通マナー(自転車、原付バイク含む。)の悪さ、夜に騒ぎ声が聞こえる。
- ・ 駅前周辺の保育園は埋まっているのに、駅から離れると空いている。遠くまで預けるのは負担になる。
- ・ 歩道橋が歩道の上であり、自転車のすれ違いが出来なく危険

第3項 総括

子育て世代とつながりたいと思っている方が多数

新住民の多くが、子育て世代とのつながりを求めており、特に、転入間もない子育て世代同士の交流や、転入者と既存住民との交流を求めている。また、その交流の場は対面でのリアルな場だけでなくオンラインも含む。

その背景には、ママ友・パパ友が欲しいだけでなく、リアルな子育てやまちの情報を知りたいという思いがある。

調査開始前に仮設定した内容※と、今回のモニターアンケートの結果が異なるとは言えないため、転入間もない子育て世代が参加しやすい交流の場、まちの情報等を取得しやすい機会の創出が重要と考えられる。

子育て世代の新住民は、周りに知り合いがいなく、全てが初めてで分からないことも多い。しかしながら、市の交流事業・イベント、子育て支援施設には気軽に参加・利用しにくく、不安を感じながら子育てをされているのではないかと。

※ 仮設定(p3(3)仮説立案 参照)

治安に関する評価

転入間もないころは、アプリ等で不審者情報が上がってくることなどを踏まえ、治安が悪いと評価されていたが、住み続ける時間の経過と共に、想像していたよりも治安が良くて住みやすいとの意見が見られた。

情報発信に関する不満

子育て世代は、イベント・行事・手続等の前に、事前にネットで検索していることから、知りたい情報が市ホームページで得られるよう、各発信媒体の特性をいかした積極的な情報発信、視覚的に見やすく・知りたい情報にたどり着きやすいホームページの作成が重要と考えられる。

道路の安全性への意見

子どもの安全性という観点から、交通マナーと道路整備に関して対策してほしい、不安に思うとの意見が多く見られた。

小学校への関心

小学校に対しては、小学校の安全、校舎の老朽化、通学の距離、就学後の支援・サービスが充実しているか等に対し関心が高く、未就学児を持つ子育て世代に対しても、小学校の情報を取得する機会の創出、小学校に関する情報発信等が重要と考えられる。

第2章 転出モニターアンケート

第1項 概要

(1) 調査の目的

子育て世代の転出者に対し、子育てのしやすさ、住みやすさ、子育て支援事業等について、新たなまちで住み慣れた頃に、本市と比較していただくことで、新たなニーズの把握、訴求力の高い政策立案、転出抑制等につなげる。

(2) 現状

転出された子育て世代は、転勤、結婚、住宅の都合等をきっかけに転出している人が多数であり、行政への不満が原因で転出された人は少ない。(他市の調査)
しかしながら、他市へ引っ越し、新しいまちに住んでみて、初めて本市のサービスの善し悪し、課題に気付くことが考えられる。

(3) 仮説(調査設計の基本的考え)

- ・ 転出された子育て世代は、本市と新しいまちとの行政サービスの違いを比較できるため、本市に住んでいた頃には気付かなかった行政サービスの良かったところ、悪かったところが見えてくるのではないか。
 - ・ 特に既存住民では言いにくい悪かったところ(課題)については、転出者だからこそ本音で言っていただけではないか。
- ⇒ 既存住民を対象とした調査では把握しにくい、行政サービスに対する潜在的ニーズの把握につなげる。

(4) 調査の対象者(モニター)

本市から転出間もない未就学児を持つ子育て世代 11人

(5) 実施期間

令和5年1月10日(火)～令和5年1月29日(日)

(6) 調査手法

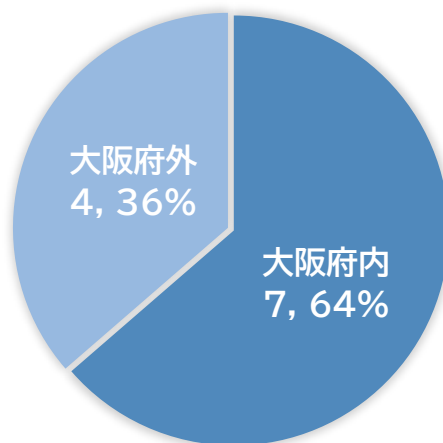
モニターが登録したメールアドレスにアンケート回答用の URL を送付

第2項 調査結果

(1) 転出先の住所

Q:お住まいの都道府縣市町村名を記入してください。

大阪府	7
枚方市	5
交野市	1
門真市	1
兵庫県	1
和歌山県	1
岐阜県	1
東京都	1
合計	11



(2) 本市から転出した理由

Q:寝屋川市から引越された理由を教えてください。(記述)

転出のきっかけ	人数	転出するまちの選択の余地		転出先の住所	
		あり	なし	府内	府外
マイホームの購入	5	4	1	4	1
転勤・転職・仕事の都合(社宅から出るようになった)	3	3	0	1	2
子どもの幼稚園・小学校入園	2	2	0	1	1
近隣トラブル	1	1	0	1	0
合計	11	10	1	7	4

※ 選択の余地がない理由:地元の家を購入

クロス集計表

		転出する市町村の選択の余地		計
		あり	なし	
転出先の住所	府内	7人	0人	7
	府外	3人	1人	4
計		10	1	

本市に住み続ける選択肢があったが、転出された可能性がある人

Point

- ・ 転出のきっかけについては、マイホームの購入、転勤など個人の事情によるものが多いことが分かった。
- ・ 一方、転出先のまち選びに際して選択の余地がある10人のうち7人が、近隣都市(枚方市、交野市、門真市)に引っ越している。

(3) 本市の良かったところ

Q:現在のまちに住んだからこそ思う「寝屋川市に住んでいてよかったと思う行政サービス」があれば、率直に教えてください。(記述)

① 子育て支援の充実

18歳までの子ども医療費助成、子育て支援施設等のアプリ予約、
リラット、保育園の設備、子育てサポートの充実

② その他

- ・ 駅前のシティ・ステーションの利便性(様々な手続、気軽な質問ができた。)
- ・ 図書館、本の返却ポスト制度
- ・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の集体会場の多さ
- ・ ゴミ収集の頻度の多さ
- ・ 水道代
- ・ ショッピングモールの多さ
- ・ 住み心地

Point

転出先のまちと比較し、「18歳までの医療助成」「リラット」等の子育て支援を始め、
ゴミ収集の回収頻度や図書館の充実、手続の利便性など、本市の各種市民サービスに満足されている人がおられる。

(4) 本市がもう少し取り組んでほしかったところ

Q:現在のまちに住んだからこそ思う「寝屋川市がもう少し取り組んでほしかった行政サービス」があれば、率直に教えてください。(記述)

① 子育て支援・行政サービス

子育て支援の無償化(2人目の保育料、子どもの医療費)、公園の清掃、
病児保育サービス 等

② 生活環境

- ・ 寝屋川市駅周辺以外の地区の整備
- ・ 道路の整備(ガタガタ、鉄板が多い、バス停近くに歩道がない 等)
- ・ 鳥対策(マンションのベランダが鳥の糞まみれ、カラスがゴミをあさっていた。)

③ 特になし(4件)

Point

現在のまちに住んだからこそ分かる寝屋川市が改善すべきところとして、「子どもの医療費」「保育料」等に対する経済的負担の軽減や、「道路の整備」等の身の回りの生活環境を挙げられている人がおられた。(この傾向は、転入モニターアンケートでも同様)

※ P28(1)前のまちとの比較

⇒ 住み続けるまちを検討する上で、経済的負担軽減につながる子育て支援や、身の回りの生活環境の安心・安全について重視していることが考えられる。

(5) 本市への愛着

Q:また寝屋川市に訪れたいと思いますか。(選択)

とても思う	5	7人
少し思う	2	
どちらともいえない	3	
ほとんど思わない	1	
全く思わない	0	

① 寝屋川市に訪れたいと思う理由

- ・ リラットのキッズパークに行く。
- ・ お世話になった保育所の先生、ファミリー・サポート・センターの方に会いたい。
- ・ 親戚が寝屋川市在中のためこれからもよく帰省する。
- ・ 買い物でよく訪れる。

② どちらともいえないと思う理由

都心に近く、いいところがあるため 等

③ 寝屋川市に訪れたくないと思う理由

また住みたいとは思わない。

Point

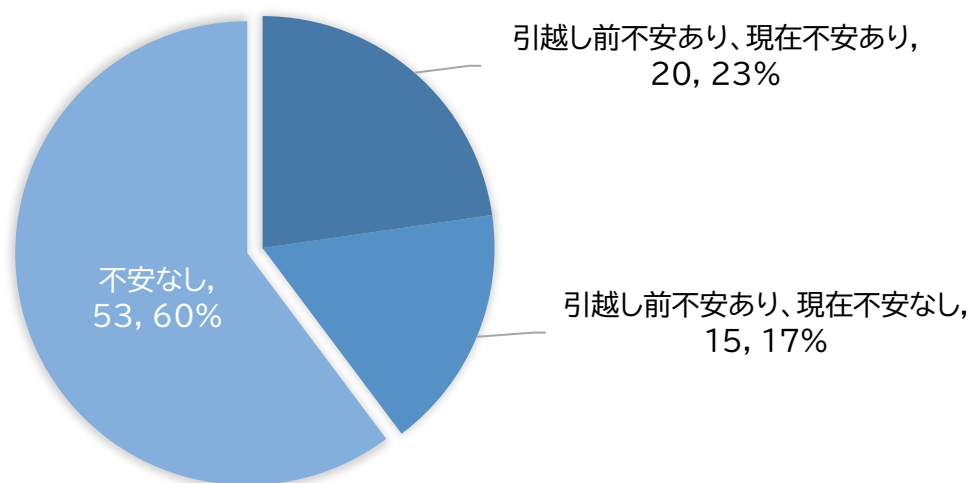
「本市にまた訪れたい」理由として、「子育て支援施設に訪れたい(リラット、保育園)」「お世話になった人(保育所、ファミリー・サポート・センター)に会いたい」という人がおられ、本市の子育てサービスを起因として、本市へ訪れたいこと、愛着につながっていることが考えられる。

(6) 引越し前の不安

Q:以下の項目について、引越し前に不安がありましたか。

また、現在も不安はありますか。(複数選択)

	引越し前に不安あり		(参考) 不安なし
	現在は不安なし	現在も不安あり	
治安がよく安心して子育てできるか不安	3	1	7
子どもの遊び場(公園・子育て支援施設等)が充実しているか不安	3	2	6
希望の幼稚園・保育園に通えるか不安	2	2	7
子育て情報が充実しているか不安	3	1	7
市の子育て施設が充実しているか不安	2	3	6
子育ての相談相手ができるか不安	2	2	7
近隣・地域の人とうまく付き合えるか不安	2	2	7
ママ友・パパ友ができるか不安	3	2	6
合計	20	15	53



Q:その不安はどのようにしたら解消できると思いますか。(記述)

- ① 「治安がよく安心して子育てできるか不安」に対する解消方法
市役所に相談
- ② 「子どもの遊び場が充実しているか不安」に対する解消方法
市内に無料で利用できる子育て支援施設の充実
※ 現在は、充実しているとは感じず、市外の近場の有料の施設で遊ばせることが多い。
- ③ 「希望の幼稚園・保育園に通えるか不安」に対する解消方法
子どもと一緒に集まれる場所での相談
- ④ 「子育て情報が充実しているか不安」に対する解消方法
イベントへの参加や自分で情報収集
- ⑤ 「市の子育て支援が充実しているか不安」に対する解消方法
子育て支援に関する広報活動の充実
※ 現在は充実しているとは感じない。
- ⑥ 「子育ての相談相手ができるか不安」に対する解消方法
子育て施設のスタッフ、保育園の先生などに相談
- ⑦ 「近隣・地域の人とうまく付き合えるか不安」に対する解消方法
日々の挨拶や、継続的なコミュニケーション
- ⑧ 「ママ友・パパ友ができるか不安」に対する解消方法
子どもが保育園に通い始めてからのママ友作り
※ 今はママ友がいない。

Point

転出者も転入者と同様に、新しい生活環境に対する不安を抱えて転出されている人が一定数おられる。

※ P11(4)引越し前の不安

※ 全ての項目で大きな違いは見られないが、不安を抱えて引越し、不安を抱えたまま新しいまちで過ごしている人がいると考えられる。

(7) 自由意見

Q:その他、寝屋川市(行政)に意見がありましたら自由に記入してください。(記述)

- ・ 新たに住み始めたまちでは、認可保育園に入れない方もおられ、改めて寝屋川市は待機児童ゼロなところがいいと思った。
- ・ 新たなに住み始めたまちと比較して、寝屋川市は歩道が狭く、高齢者、車椅子の人にとっても広い歩道の方がいいと改めて思った。
- ・ 寝屋川市では子どもセンターや子育て支援センターが近くにあり、講座なども充実していたところがよかった。
- ・ 寝屋川市には、今後も訪れるのでより良くなるよう応援している。

第3項 総括

本市から転出し、新たなまちに住んだことで、改めて本市のサービスを評価

転出して新たなまちに住んでみて、改めて本市のサービス、取組が良かったと評価されている方が一定数おられた。

即時的に転出抑制につなげる取組は難しいものの、例えば、本市のサービス、取組の良さ、魅力について単体で見せるのではなく、他市と比較した場合、実は本市のサービスはとてもきめ細かいこと、充実しているといった見せ方(周知、PR)を行うことで、単体では知りえなかった本市のサービスの良さを再認識し、転出抑制、定住促進につながることも考えられる。

転出のきっかけになるほどの市民サービスに対する不満はないが、マイホームの購入等で近隣市に転出

本市のサービスを起因として転出された方はいないものの、転出先が近隣市(枚方市、交野市、門真市)であることを踏まえると、市民サービスの充実だけでなく、例えば、民間企業等とも連携しながら、より一層、本市に留まらせる、定住させる取組を進めていくことが重要である。

子育て世代への情報発信として、子育て支援だけでなく、家庭、生活、暮らしに関わる取組も重要

転出した人の視点として、子育て支援以外にも、ゴミの回収頻度や道路の整備等の生活環境も重視されている方がおられ、寝屋川市に転入を検討されている方へのアピールとして、子育て支援に加えて、生活環境(ハード面・ソフト面)に関する取組の情報発信も重要と考えられる。

令和4年度
転出入モニターアンケート調査報告書
(令和5年5月)

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

TEL : 072-825-2019 FAX : 072-825-0761

URL : <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>